

2017年3月期 上期

決算概要

テルモ株式会社

常務執行役員 IR・広報室担当

北畠 一明

2016年11月10日

為替影響を乗り越え、営業利益は過去最高

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減率	為替除く 増減率
売上高	2,592	2,451	-5%	+5%
粗利益	1,394 (53.8%)	1,360 (55.5%)	-2%	+8%
一般管理費	844 (32.6%)	803 (32.8%)	-5%	+5%
研究開発費	159 (6.1%)	163 (6.6%)	+3%	+11%
営業利益	391 (15.1%)	394 (16.1%)	+1%	+11%
(のれん等償却除く)	493 (19.0%)	486 (19.8%)	-2%	+10%
経常利益	358 (13.8%)	306 (12.5%)	-14%	
純利益	270 (10.4%)	204 (8.3%)	-24%	

期中平均レート USD 122円 105円
 EUR 135円 118円

- 売上高 : 為替を除き日本・海外ともにプラス伸長。心臓血管は継続して二桁伸長
- 営業利益 : カテーテルを中心とした高収益品の拡大、品質システム改善コスト減で増益
- 経常利益 : 為替差損66億円。外貨建て債権圧縮によりQ2の差損減少
- 純利益 : 為替差損と前年同期の土地売却益の影響で減益

外貨建て債権を圧縮し、営業外為替変動リスクを縮小

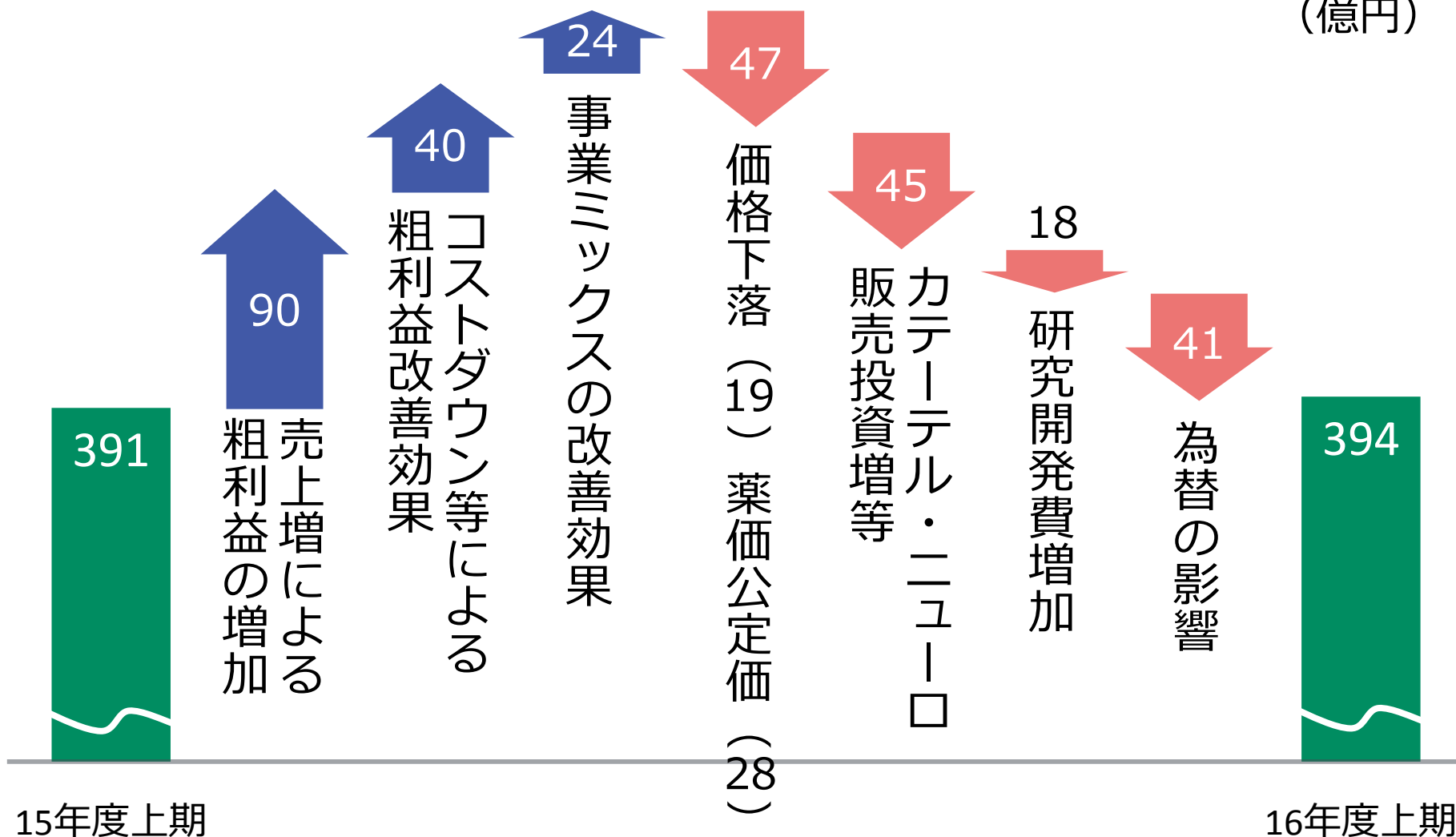
- USD建て債権はFY15末\$600M→FY16Q2末\$100M程度に圧縮
- 上期差損実績：66億円 (FY16 Q1：55億円、Q2：11億円)

	レート推移 (円)			上期実績 (億円)	
	15年度末	16年度Q1末	16年度Q2末	16年度Q1	16年度Q2
USD	112.68	102.91	101.12	-46	-9*
人民元	17.39	15.46	15.14	-5	-1
EUR	127.70	114.39	113.36	-3	0
その他通貨		—		-1	-1
計		—		-55	-11

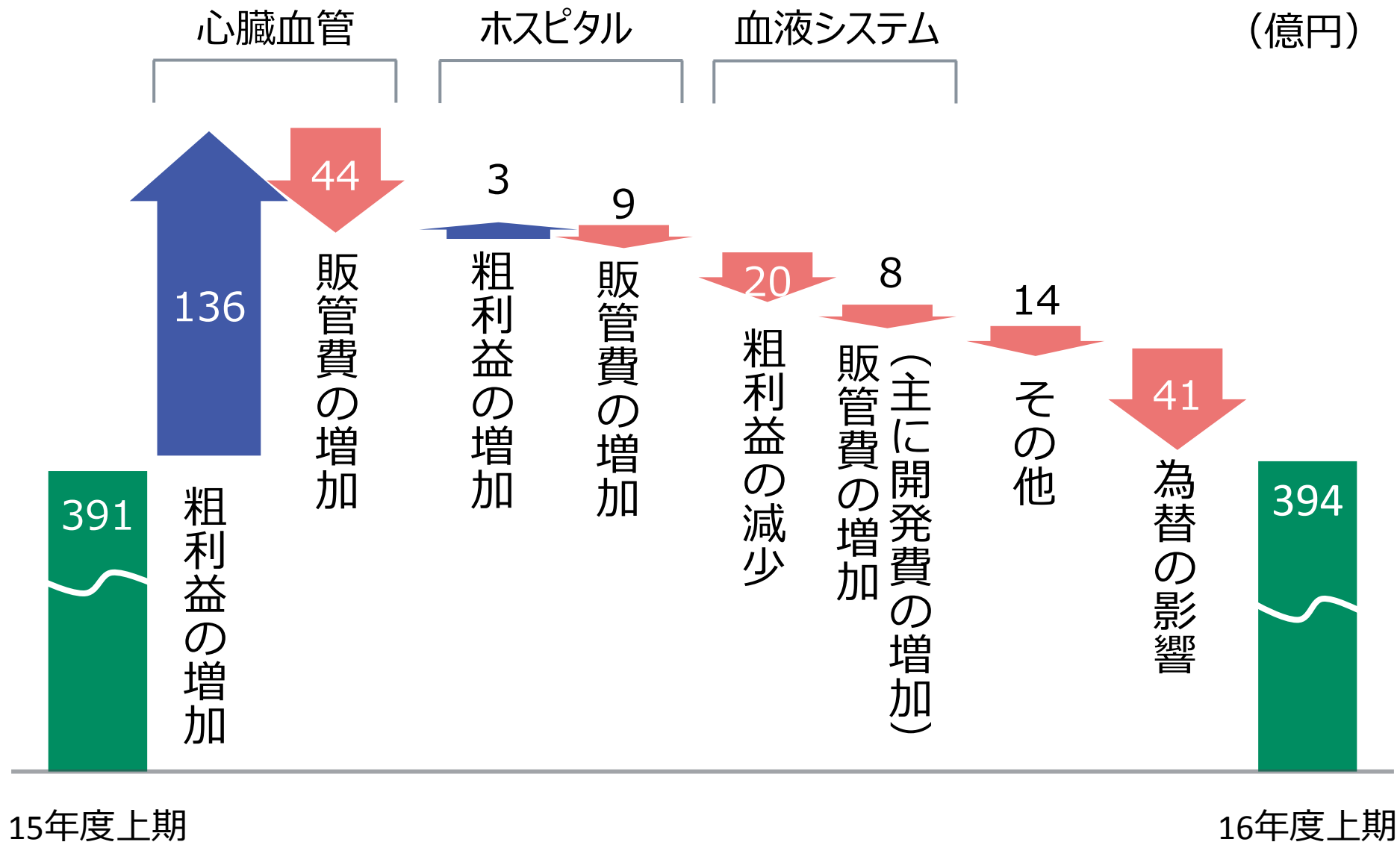
*Sequent Medical買収送金時に生じた差損7億円を含む

営業利益増減分析

(億円)



営業利益増減分析



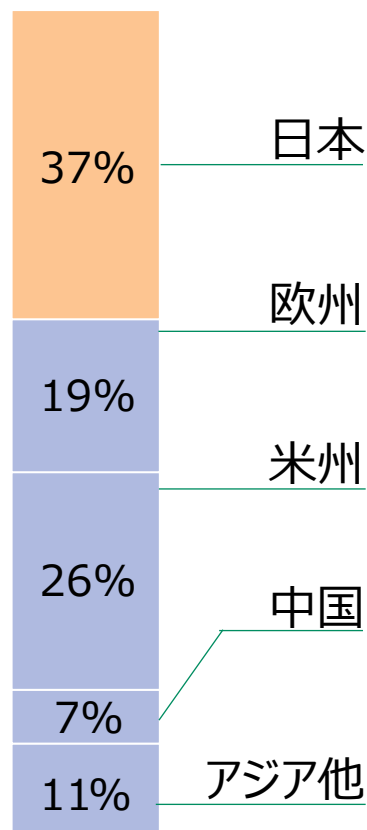
地域別売上高

■ 16年度上期

■ 15年度上期

売上高

100% = 2,451億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
918 903	2%	薬価公定価改定の影響を受けるも、カテーテルやニューロ、加えて輸液ライン等が牽引
455 503	-10% (5%)	カテーテルやニューロなどが好調維持。ホスピタル基盤医療器の低収益事業縮小継続、一方グローバルD&D(B2B)拡大
647 720	-10% (5%)	米国はTRIアクセスデバイスや治療ワイヤーが、中南米はDESが牽引。血液は新価格適用
160 173	-8% (12%)	カバー率が向上した代理店網を通じアクセスデバイスやコロナリー治療デバイスが牽引し二桁伸長
272 292	-7% (9%)	心臓血管、ホスピタルともに二桁伸長

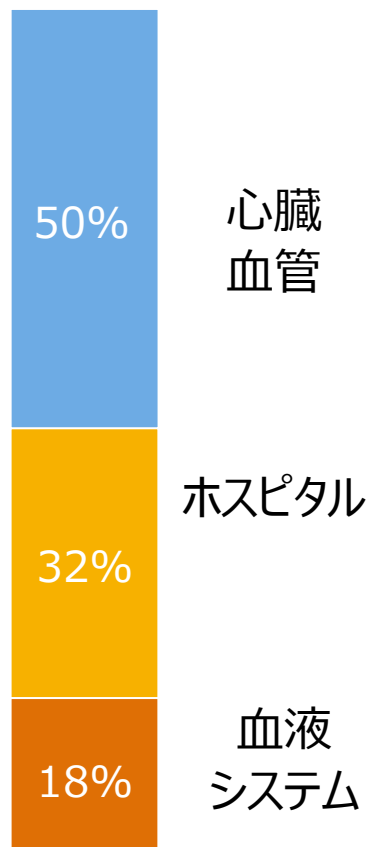
カンパニー別売上高

16年度上期

15年度上期

売上高

100% = 2,451億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
--------	-----	------

() 内は為替影響除く

心臓血管	1215 1255	-3% (10%)	カテーテル・ニューロに加え、人工血管もグローバルで二桁伸長し全体を牽引
ホスピタル	782 808	-3% (0%)	欧州・中南米は低収益事業縮小を継続 アジアは二桁伸長維持。日本は輸液ラインが伸長も、造影剤代理販売終了の影響
血液システム	452 528	-14% (-1%)	米国血液センター向け製品の新価格適用の影響受けるも回復基調 為替除く売上伸長(Q1⇒Q2): 7%

心臓血管：高収益なアクセスデバイス、コロナリー治療デバイスが牽引し二桁増益

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

売上高	1255	1215		為替のマイナス影響	- 164
			-3% (10%)	日本：公定価改定の影響を跳ね返し、 コロナリー治療デバイスや、ニューロが好調維持	+ 17
				海外：コロナリー治療デバイスおよび アクセスデバイスが継続して二桁伸長	+106
事業利益 (率)	293 (23%)	330 (27%)	13% (32%)	高収益なアクセスデバイスやコロナリー治療デバイスが牽引 ミサゴのリコール、Sequent Medical買収の影響	- 13

ホスピタル：薬価改定や低収益事業縮小で減収も、収益性は改善基調

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

売上高	808	782	-3% (0%)	為替のマイナス影響	- 28
				海外：欧州・中南米は低収益事業縮小	- 9
				アジアは留置針などが牽引し好調	+11
				日本：輸液ラインなどが伸長	+10
				薬価改定、造影剤代理販売終了	- 14

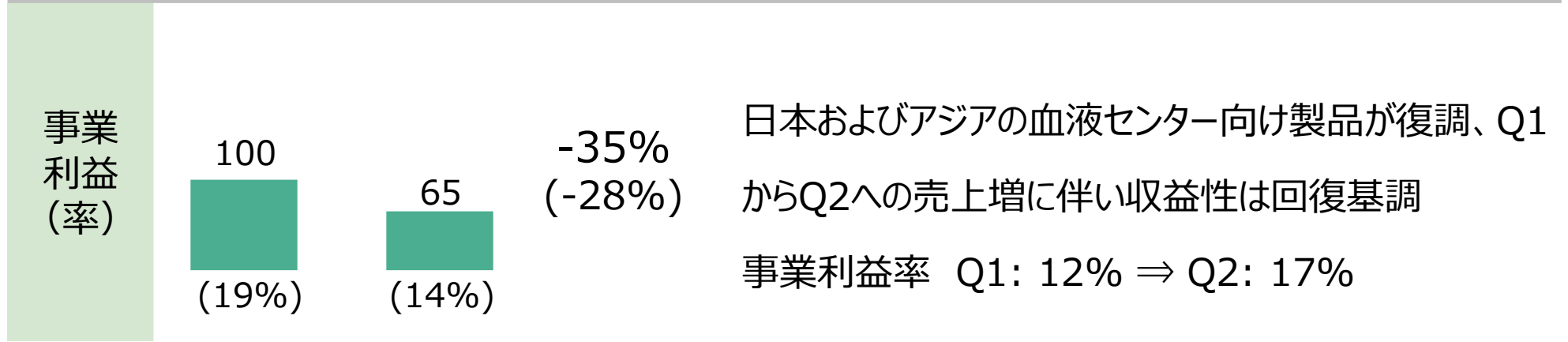
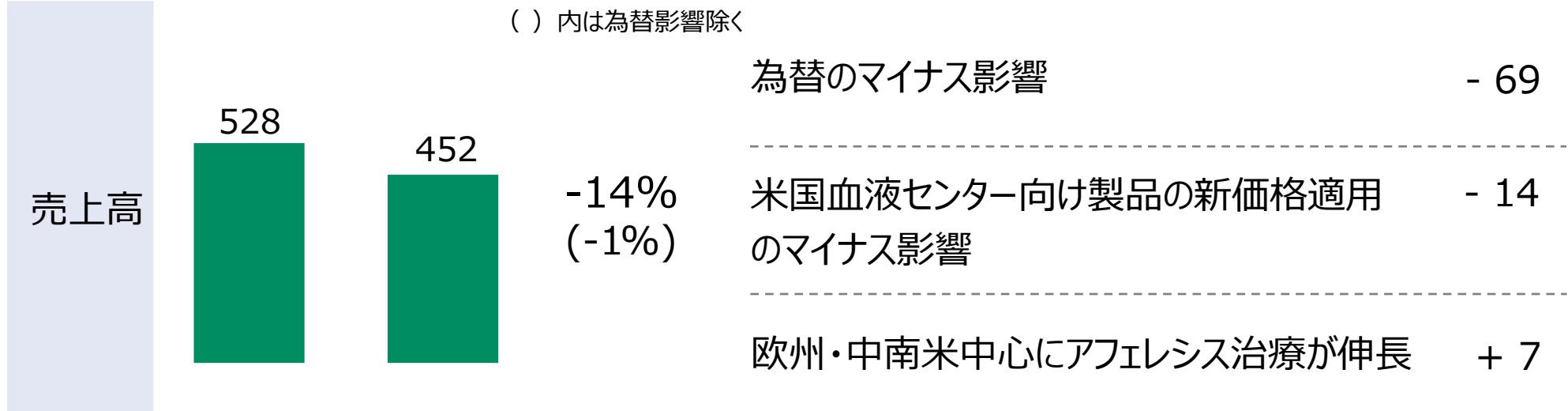
事業利益(率)	117 (15%)	112 (14%)	-4% (-5%)	在庫評価差や、金利低下による年金コスト増の影響が残るものの、事業利益率は緩やかに改善基調 事業利益率 Q1: 14% ⇒ Q2: 15%
---------	--------------	--------------	--------------	---

血液システム：米国新価格適用のマイナス影響は上期で概ね一巡

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く



Q2 主なトピックス

全社

- 成長投資資金の保有を目的にシンガポールに新会社設立（8月）
- ハートシートが「産学官連携功労者表彰・厚生労働大臣賞」受賞（8月）
- 2016年度グッドデザイン賞受賞（9月）



「Ultimaster」



「テルパックエコ」



「ロイコメドCフィルムドレッシング」

事業

- 日本で血液自動製剤化システム「TACSI」ローンチ（7月）
- 日本で「Ultimaster」4mmローンチ（8月）
- 日本で採血用穿刺器具「メディセーフファインタッチⅡ」ローンチ（9月）

16年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster)	◎ ★	仏	済み
	DES (Ultimaster) 4.0mm品種追加	◎ ★	日	済み
イメージング	IVUS	◎ ★	日	
ペリフェラル	PTAバルーン (膝下, RX/OTW)		日・米・欧	日米:済み
	PTAバルーン (膝上・下両用,RX/OTW)		日・米・欧	日米:済み
	PTAバルーン (膝上, RX/OTW)		日・米・欧	済み
脳	プロテクションデバイス		欧	
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ (Quirem)	★	欧	

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

領域	製品		地域	ローンチ
CV	遠心ポンプ装置		亜	
再生	ハートシート	★	日	済み
D&D	皮内投与デバイス	★	日	FY17 予定
	癒着防止材	★	日	承認済み Q4発売
DM	血糖計 (フィットスマイル)		中	
血液	自動製剤化システム	★	日	済み



「Ultimaster」4mm
日本(Q2)



自動製剤化システム
「TACSI」日本(Q2)



癒着防止材
承認・日本(Q4発売)

業績予想の修正

- 為替影響およびSequent Medical買収の影響を考慮し業績予想を修正

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
従来予想	5,170	750	710	525
今回修正予想	5,170	750	650	475
修正額	-	-	-60	-50

為替レート 下期 USD=105円、EUR=115円
通期 USD=105円、EUR=116円

- 下期業績のポイント

- 海外カテーテルが好調という基本トレンドは変わらず
- 止血デバイス等買収が成立した場合の一時的な利益への影響
- 経常利益以下は、年度末の為替レートの変動によって変わる可能性あり

会計基準の変更

■2018年3月期決算からIFRSを適用

➤2018年3月期	Q1~Q3 期末	日本基準ベース IFRSベース
-----------	-------------	--------------------

■グローバルスタンダードへ変更

- 財務情報の国際的な比較が容易に
- グループ会計基準統一による経営管理とガバナンスの強化

■変更の主な収益影響

- 日本基準におけるのれん償却は行わない

参考資料

事業別 地域別売上高と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	245 (+8%)	970(+10%)	304 (+8%)	420(+10%)	128(+15%)	118(+12%)	1215(+10%)
うちカテーテル※	189 (+10%)	777(+12%)	247 (+9%)	311(+12%)	121(+14%)	98 (+15%)	966(+11%)
ホスピタル	615 (-1%)	168 (+4%)	38 (-11%)	37 (+3%)	10 (+9%)	83 (+12%)	782 (+0%)
血液システム	57 (+3%)	395 (-2%)	112 (+1%)	190 (-4%)	22 (-3%)	71 (-0%)	452 (-1%)
合計	918 (+2%)	1533(+6%)	455 (+5%)	647(+5%)	160 (+12%)	272 (+9%)	2451 (+5%)

※ニューロバスキュラー事業含む

() 内は為替影響除く対前年同期伸長率

販管費

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	382	363	-19	- 5%	+6%
販促費	81	75	-6	- 7%	+3%
物流費	55	55	-0	- 0%	+5%
償却費	140	124	-16	- 11%	+0%
その他	186	186	+0	+ 0%	+9%
一般管理費計	844 (32.6%)	803 (32.8%)	-41	- 5%	+5%
研究開発費	159 (6.1%)	163 (6.6%)	+4	+3%	+11%
販管費合計	1,003 (38.7%)	966 (39.4%)	-37	- 4%	+6%

四半期の動き

(億円)

	15年度Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	16年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
売上高	1,305	1,368	1,290	1,245	1,206
粗利益	704 (53.9%)	753 (55.0%)	703 (54.4%)	698 (56.0%)	663 (55.0%)
販管費	427 (32.7%)	429 (31.3%)	428 (33.1%)	403 (32.3%)	401 (33.3%)
開発費	80 (6.1%)	74 (5.4%)	99 (7.7%)	81 (6.5%)	82 (6.8%)
営業利益	197 (15.1%)	250 (18.3%)	176 (13.6%)	214 (17.2%)	180 (14.9%)
のれん等償却 除く営業利益	248 (19.0%)	301 (22.0%)	225 (17.4%)	259 (20.8%)	226 (18.8%)

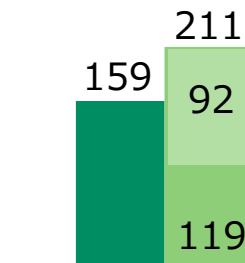
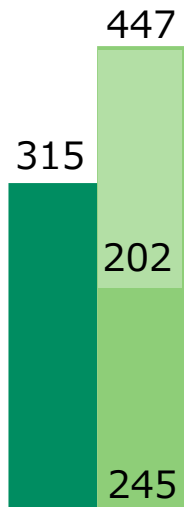
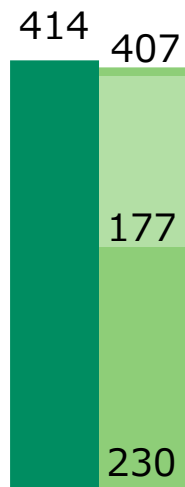
四半期	USD	122円	121円	115円	108円	102円
平均レート	EUR	136円	133円	127円	122円	114円

設備投資と研究開発費

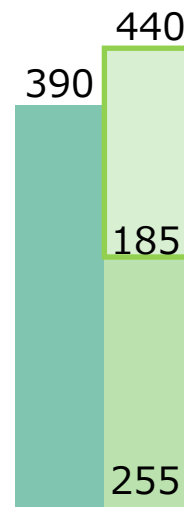
(億円)



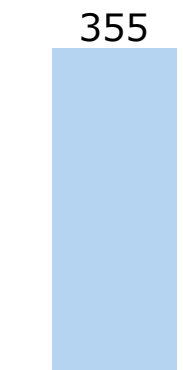
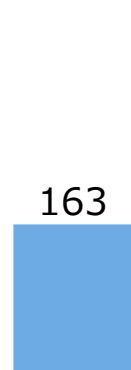
のれん・無形償却費



設備投資は建設仮勘定計上ベース



- 設備投資はFY13でピークアウト
- 設備投資は償却費の水準に落ち着く方向へ



- 主に北米にてカテーテル・ニューロの開発活動を促進

13年度

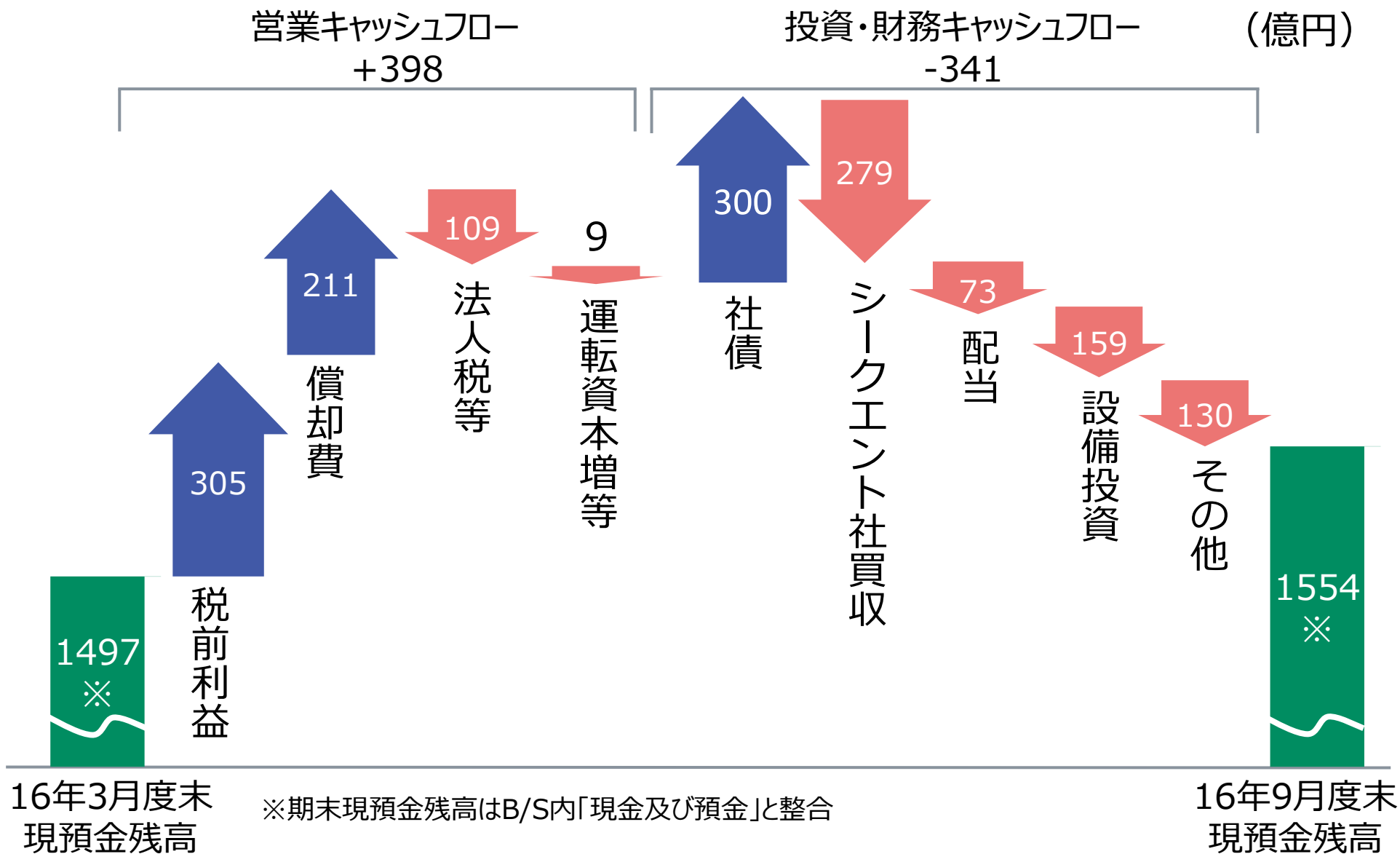
14年度

15年度

16年度上期

16年度予想

キャッシュフロー



為替感応度

(億円)

	USD		EUR
	のれん等償却 除く	のれん等償却 含む	
売上高	14	14	5
営業利益	0	-2	3

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。